

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス プレミアムドリーム		公表日 令和7年3月31日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	◎		事業所の床面積が『利用者1名あたり2.47㎡』のスペースの確保が必要である事を念頭に物件を選定しています。	開所するにあたり『利用者1名あたり2.47㎡』以上のスペースを確保するように努めています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	◎		児童指導員または保育士、児童発達支援管理責任者等の配置基準を満たしており、毎回利用者数や児童の状態に対して、対応可能な人員を確保するように努めています。	利用定員に対して、職員が不足しない様に職員の体調やメンタル面の管理はもちろん、子ども達の状態に応じた人員配置を考慮する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	◎		こどもの障がい特性に応じ、絵カード等を活用し、視覚的にわかりやすい生活空間を構築するように努めています。	今後の課題として車椅子が必要な肢体不自由児など、施設建物のバリアフリー化が必要な身体障がい児の受け入れは行っていない点。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	◎		日々、もしくは随時子ども達の過ごしている生活空間を清浄に保つように努めています。	特に汚れやすい箇所などを把握し不衛生な状態にならない様に、定期的な清掃を行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	◎		こどもからの相談事や子どもが不穏な状態になった場合は、相談スペースなどの個室の利用を行い、落ち着ける様にしています。	こどもが不穏な状態にならないような、声掛けや、対応を事前に話し合っておく事。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	◎		事業所としての目標設定と振り返りを毎日のミーティングにて行い、スタッフからも改善点などの意見を聞くようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	◎		毎年アンケートを実施し、保護者さまの意向の把握に努める事と、日々の送迎時などでも保護者さまからの意向を把握する様にしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	◎		毎日のミーティングや上長との個人面談を通して職員の意見等を把握するようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	◎		定期的な内部監査や、保護者評価アンケート内容のスタッフとの共有、毎月のデイチェック等を通し業務改善につなげています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	◎		弊社の年間スケジュールに基づいて研修、またハラスメント防止、感染症対策、身体拘束虐待防止委員会を開催しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	◎		(知育・体育・食育)の一体化支援で生涯自立＝生きる力を育てる事を旨とした支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	◎		契約時から始まり、また定期的アセスメントを行い、支援計画書を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	◎		個別支援会議にて全職員が参加して、保護者さまや本人の意向を尊重した計画や目標意識を共有しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	◎		個別支援会議にて全職員が参加し、保護者さまや本人の意向を尊重した計画や目標意識を共有、計画に沿った支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	◎		経過記録用紙の裏面に標準化された様式を用いて記録、日々のミーティングでこどもの状況を振り返り、確認しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	◎		放課後等デイサービスガイドラインに沿い、保護者さまの意向や、子どもひとりひとりの特性に併せた支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	◎		毎月の活動プログラムについて、どのような内容にするか？チーム内で共有し作成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	◎		毎月の活動プログラム作成時に季節のイベントや流行を取り入れるなどして、固定化しないように工夫しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	◎		こどもの成長に応じた手先を使う個別の活動や、集団で行う伝承遊びなど、デイサービス計画に沿って支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	◎		毎日のミーティングで、当日の支援内容を共有確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	◎		勤務時間の都合により、前日の振り返りとその日の打ち合わせを当日の朝に行っています。その日のうちに申し送りが必要な内容に関しては当日中に行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	◎		経過記録にて個々に記録をとり、支援内容の検証、改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	◎		6ヶ月に一度モニタリングを行い、支援方針が適切か評価して、必要に応じて計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	◎		子ども達ひとりひとりのニーズに合わせて生涯自立に向けての活動、野外活動を通して社会との交流、また室内での余暇の提供を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	◎		支援計画において（知育・体育・食育）の一体化支援で生涯自立＝生きる力を育てる事を旨とした支援プログラムを作成し支援しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	◎		児童発達支援管理責任者並びに事業所の管理責任者が出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	◎		区役所や、精神科などの医療機関、学校でのケース会議などに出席し連携・対応するように体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	◎		スクリーン等の情報アプリの活用、下校時のお迎えの際の引継ぎ時に限らず、必要に応じて学校の担任教諭とも連絡調整をしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	◎		就学前の状況については基本的に保護者様よりアセスメントシートの提出を頂き、確認し相互理解に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	◎		該当事業所より、情報を求められた場合は個人情報への運用に十分注意をしつつ提供するようにしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	◎		現在ご利用者さまに該当の方がいらっしゃいませんので、受けていませんが今後必要な機会があれば積極的に助言や研修を受けていきます。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	◎		今後そのような機会があれば是非参加したいと考えています。	感染症への不安から、他施設との交流を希望されていない保護者様もいらっしゃるので、慎重に検討する必要があると考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	◎		日程が合わず参加できておりませんが、今後は是非参加したいと考えています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	◎		連絡帳や電子メールなどのツールを活用し、日々の支援内容や子ども達の状況をお伝えし共通理解を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	◎		子ども達の状況に合わせ、保護者様がよりよくお子様と関わる事が出来るような助言を行っています。	
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	◎		契約時に行い、不明な点がある場合は随時説明させて頂いています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	◎		契約時に話し合いアセスメントを作成、こどもや保護者様のニーズを尊重した計画を作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	◎		はい、計画作成、更新の際にも支援内容の説明をし同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	◎		送迎の際などにも、保護者様からの相談に対して、必要な助言や支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	◎		年一回、保護者懇談会を開催しており、保護者さまの交流の場となっていると考えてます。	それぞれ個別または小規模での懇談を希望される保護者さまのニーズもある事から、個別・小規模での開催も視野に入れ検討します。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	◎		お客様相談窓口を設置している旨、契約時に説明しており、苦情を賜った際には、代表が対応する事になっています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	◎		毎月、ご利用の保護者さまあてに活動の概要などをお伝えする様に新聞を発行、またホームページでも情報発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	◎		職員の入社時やミーティングなどでも個人情報についての研修を行い、個人情報の取り扱いには留意しています。	
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	◎		連絡帳や電子メールなどのツールを活用し、情報伝達がスムーズに出来るように配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	◎		感染症対策、また子どもの安全確保を優先する観点から、地域住民の招待は難しいと感じている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	◎		各マニュアルについては、保護者会の参加者に周知しており、不参加の方にもお渡ししています。また定期的にご利用者様も含めた避難訓練などをおこなっています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	◎		防災グッズや数日間分の食料・水などを用意して非常災害への備えをしています。また定期的に避難訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	◎		日々、服薬や予防接種などの情報は保護者さまや、必要に応じて関係医療機関の意見をいただき確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	◎		保護者様がお子様へのアレルギーの対応について医師の診断を受け、職員と情報を共有しご家庭と同様の対応を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	◎		作成した安全計画に沿った研修や訓練を行い、支援に役立てています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	◎		保護者会など、直接お会いできる場にて周知を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	◎		ヒヤリハット事案が発生した際、すぐに事案を共有して、毎月の事業所全体ミーティングにてその中から一例について方策を再検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	◎		虐待防止・身体拘束防止について委員会を設置して、外部事例などを参考に研修し、施設内で共有しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	◎		必要と考慮される事案がある場合、身体拘束防止委員会にて検討して、子どもや保護者さまの了解を得て計画を作成しています。		